

## ■国家の予実■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 528 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

・・・・・・・・・・

### 528 目次

1. ご挨拶とお誘い
2. 自己流道場より
3. ブログより：国家の予実
4. 今週の動向＋今後の予定
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメールマガについて

・・・・・・・・・・

#### 1. ご挨拶とお誘い

まずは先週の報告から。

5/20(火)は、一宮庵 MTG の後午後から「みたか多世代の家」の内覧会にお邪魔しました。

コロナ禍で建設会社と折り合はず、直営方式で竣工までこぎつけたとのことで感激しました。

5/24(土)は、三宿 420 商店会の決算打合せの後一宮庵にお邪魔して、輪島の漆工芸販売会で YO さんと再会後、FEDA の MK さんとお目にかかり意気投合。

早速 FEDA に参加して、DAO を体感したいと思います。

5/25(第 4 日曜)は、恒例の「名栗の森・見学説明会」の予定でしたが、参加者が集まらず中止して。次回は 6/15 (第 3 日曜) に開催することにいたしました。

・

さて、今週のお誘いです。

5/28(水)は、三浦半島の南端近くの土地を現地調査、興味のある方はご一緒しましょう。

5/29(木)は午前恵比寿、午後から渋谷と市ヶ谷で用事があり、笑恵館には顔出せなさそうです。

5/31(土)は笑恵館で店番しながら作業してますので、気軽にお越しください。

ということで、あの火・金・日・月はふきの庭を基点に活動します。

幾つかの予定がドタキャンで暇になりましたので、今週もどうぞよろしくお願ひいたします。

・・・・・・・・・・

#### 2. 自己流道場より (まつむら塾)

現在開催中の講座はございません（1か月分）。

名称	日時・内容	受講料	開催場所
ガイダンス	受付中	無料	一宮庵（火曜）
実現学	受付中	3,300円/回	笑恵館（木・土曜）
地主学	受付中	3,300円/回	ふきの庭（日・月・水・金曜）
ビジネス DIY・複式簿記入門	受付中	3,300円/回	随時：出張orオンラインも可能

希望者さえいれば、全講座新規開講いたしますので、気軽にお問い合わせください。

### ■地主の学校・販売中

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

下記書店にて販売中。

- 文教堂書店：東川口店、赤羽店、溝の口本店、横須賀 MORE'S 店
- 紀伊国屋書店：西部東戸塚 S.C.店

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

・・・・・・・・・

### 3. ブログより：国家の予実

近頃、大企業の人員整理のニュースが目立つが、トランプ関税に端を発する世界経済の構造変革を睨んでのことらしい。

すでにリーマンショック時の雇用調整を越えそうなのに、まだ日産自動車などの大型案件が控えているという。だが、当時と全く異なるのが、業績が悪化した企業だけでなく、空前の利益を計上した企業までもが大型リストラを発表している。

ここで言う雇用調整が今後の予定計画なら、業績は現実結果を意味している。

もちろん僕たちは過去の思い出でなく、これからの中を生きるのだから、大切なのは未来であって過去はその糧となるべきだろう。

だが、未来の是非は過去との比較によってのみ語れるのであり、過去無くして未来を描くこともそれを評価することもできはしない。

終わり良ければ総て良しとか、温故知新とか、過去という現実を大切にしながら未来を論じるのが当たり前、と思いきや、ふと日本最大の法人のことを思い出した。

・

日本最大の法人とは、もちろん日本国政府のこと。

参考までに CIA の The World Factbook によると、政府の収入が大きい国・地域のランキングは、1位がアメリカ（6兆4,290億ドル）、2位が中国（3兆9,830億ドル）、3位がドイツ（1兆7,850億ドル）、4位が日本（1兆7,560億ドル）、5位がフランス（1兆4,270億ドル）となっている（2020年、ドイツのみ2019年のデータ）。

ちなみに、企業の売上ランキングは、1位ウォルマート（6738億ドル）、2位 Amazon.com（6201億ドル）、3位サウジアラムコ（4889億ドル）と、経済大国に勝る企業はまだ無いようだ。

だが、ここで問題にしたいのは、国家を経営する法人の決算報告がまるで聞こえてこないこと。

国家政府という法人は、法人税を納めるのではなく徴収する側なので、決算を慌ててしなくても支障がないという訳か。

それにしても、決算報告を聞かずして予算を論ずるなんて、何を根拠に審議しているのだろう。

・

財務省サイトによると、令和5年度決算は、令和6年7月31日に歳入歳出主計簿の締切りを行い、各省各庁から提出された歳入歳出の決算報告書等に基づいて「歳入歳出決算」を作成し、令和6年9月3日の閣議を経て、会計検査院に送付した（憲法第90条、財政法第39条）。

これを受け会計検査院は、日本国憲法第90条の規定により国の収入支出の決算を検査し、会計検査院法第29条の規定に基づいて令和5年度決算検査報告を作成し、これを令和6年11月6日に内閣に送付した…となる。

その後についてはどこにも記載はなく、衆議院サイトを調べても、審議中とあるだけだ。

そこで、ついでに参議院サイトを調べたら、ようやく「決算審査」という項目に辿り着いた。

憲法第90条第1項には、「国の収入支出の決算は、すべて毎年会計検査院がこれを検査し、内閣は、次の年度に、その検査報告とともに、これを国会に提出しなければならない。」と定められている。

毎年度の決算は、内閣から衆議院、参議院の両院に同時に提出され、それぞれの院で審査される。

だがその後に、次のような参議院の手柄話が語られる。

・

決算の審査（<https://www.sangiin.go.jp/japanese/aramashi/ayumi/sinsa.html>）

## 1 参議院における決算審査

前略…決算審査を重視する参議院では、これまで、内閣に対し決算の早期提出を求め、自らも早期審査に努めるなど、決算審査を充実させるために種々の改革を行ってきました。

その結果、平成13（2001）年度決算以降は、原則として直近の常会会期中に議決できるようにあらかじめ計画を作成して審査を行ってきました。

さらに、平成16（2004）年11月には、前年度決算の秋の臨時会への早期提出が実現し、翌年度予算の政府案決定前の審査開始が可能となりました。

内閣による決算の作成及び予算編成時期と参議院における決算審査の流れとの関係は、国会の開会状況等により異なりますが、おおむね次のとおりとなります（参考の図も併せて御覧ください）。

中略

このように、参議院では、決算審査の内容を以降の予算編成に反映させていくことができる予算・決算のサイクルが確立されてきました。

結局のところ、 $\alpha$ 年度の決算はその2年後に審査され3年後の予算に反映されるという、3年がかりという訳だ。

・

実は、この実態を知った僕は、さっそく財務省サイトで2023年度決算データを見つけ出し、Excelで自分なりの予実管理表にして、今日の画像に張り付けた（<https://nanoni.co.jp/wp-content/uploads/2025/05/250523.pdf>）。

データは所管別と性質別の2種類があったが、歳入歳出を照合するために、ここでは所管別を採用した。

タテ見出しの所管分類は、「皇室費、国会、裁判所、会計検査院、内閣、内閣府、デジタル庁、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省」となっていて、皇室費から始まるのが日本式。

ヨコ見出しは、収入・支出に大別し、収入の部「A1.歳入予算額、A2.収納済歳入額、A3.差額」、支出の部「B1.歳出予算現額、B2.支出済歳出額、B3.翌年度繰越額、B4.不用額」となっていて、収入の部が「予実と差額」なのに対し、支出の部は差額がさらに「繰越額と不用額」に分類されている。

「繰越額」は本来使うべき予算の未払い分に相当するようだが、「不用額」は使わずに済んだ額であり、どうやら執行者はこれを嫌うらしい。

・

ちなみにこの年の収入差額約 13 兆円、繰越額は約 11 兆円、不用額は約 7 兆円に上り、予算総額約 128 兆円に對して誤差では済まされない。

恐らくその内訳の説明を聞けば、より多くの国民の関心を得るだけでなく、ほとんどの経営者から様々な意見が飛び出すだろう。

今こそ国家は、法人として決算の速度を上げ、予算審議の根拠にすべきだと僕は思う。

デジタル庁がやるべきは、ボーナスやサービス券をばらまくことでマイナンバーカードを普及するのではなく、國家が 3 年かけている決算処理を攻めて 3 か月に短縮することだ。

そうすることで初めて、現状の 3 年後から 2 年後の予算に反映することができる「最低レベルの法人」になれるはず。

これから選挙を気にしながら、来年度予算の論点が決まってくるなどと、テレビの解説に吐き気を覚える。少子高齢化より、地球温暖化より、決算ののろさと無関心こそが、この法人（国）の最大の課題だと僕は思う。

<https://nanoni.co.jp/250523-2/>

・・・・・・・・・・・・・・・・・・

#### 4. 今週の動向+今後の予定（下記以外はまつむら塾受付中）

【凡例】◎：要連絡、○：要申込、×：一般参加不可

##### ■今週の動向

(火) 05/27 メゾンふき作業日

交流◎：09-17 時 現地・見学説明会（ふきの庭）

(水) 05/28 メゾンふき作業日

訪問○：10-14 時 三浦土地現地調査（横須賀市長井）

会議◎：20-21 時 LR 定例 MTG\_4 火（メゾンふき+zoom）

(木) 05/29 各所作業日

会議×：10-12 時 HFA 定例会（恵比寿）

訪問×：13-14 時 青島裕之建築設計室（渋谷）

訪問×：15-16 時 エスナ市ヶ谷（市ヶ谷）

(金) 05/30 メゾンふき作業日

交流◎：09-17 時 現地・見学説明会（ふきの庭）

(土) 05/31 笑恵館作業日

作業◎：09-17 時 笑恵館受付業務\_土（笑恵館）

(日) 06/01 メゾンふき作業日

交流○：10-17 時 現地・見学説明会\_4 日（名栗の森）

(月) 06/02 メゾンふき作業日

交流◎：09-17 時 現地・見学説明会（ふきの庭）

##### ■今後の予定

06/03 会議◎：11-13 時 一宮庵 MTG（成城）

06/04 交流○：11-16 時 庭いじり研究会（ふきの庭）

06/07 作業◎：09-13 時 笑恵館受付業務\_土（笑恵館）

- 06/07 出席○：14-17 時 松本家結婚パーティ（ふきの庭）  
06/09 会議×：19-29 時 (株) なのに定例会（稻城市長峰）  
06/10 会議○：20-21 時 LR 定例 MTG\_2 火（メゾンふき+zoom）  
06/12 会議○：15-16 時 三宿 R420 商店会年次総会（三宿）  
06/12 会議○：17-19 時 笑恵館運営会議\_2 木（笑恵館）  
06/19 交流○：13-18 時 なるほどデイ\_3 木（笑恵館）  
06/19 交流○：18-20 時 持ち寄り食事会\_3 木（笑恵館）  
06/21 出席×：16-20 時 KK さん結婚式（表参道）  
06/22 交流○：10-14 時 現地・見学説明会\_4 日（名栗の森）  
06/24 会議○：20-21 時 LR 定例 MTG\_4 火（メゾンふき+zoom）  
06/26 会議○：17-19 時 笑恵館運営会議\_4 木（笑恵館）  
06/28 交流×：18-20 時 住人食事会\_4 土（笑恵館）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

・・・・・・・・・・・・

## 5. アクセスポイント

松村拓也

メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携帯 090-9830-3669

拠点

一宮庵（火）

〒157-0066 東京都世田谷区成城 6-22-7

<https://ikkuan.com/>

笑恵館（木土）

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

ふきの庭 PJT（上記以外&居住）

〒146-0094 東京都大田区東矢口 1-10-8

<http://fuki.land-resource.org/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

・・・・・・・・・・・・

## 6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>